

岩盤法面の安定 劣化防止

岩の景観を生かした落石防止工法 ソイルガード工法

ソイルガード剤・ソイルガード工法

ソイルガード工法は、高い接着力を持つ2液性常温硬化型のソイルガード剤（エポキシ系樹脂）を用いた一連の工法です。

ソイルガード工法は土木や建築分野での接着技術を応用し、岩盤法面や自然石群の補強や劣化防止を行い、現状の景観を維持しながら安定化させる景観に配慮した工法です。

ソイルガード工法の特長

石や岩の隙間，クラックを接着して落石を防止します
劣化や侵食の進行を抑え安定を図ります
景観を損なわずに補強や安定化が図れます
亀裂の多い岩や堆積土への緑化導入が可能です。
耐水性、耐薬品性、耐磨耗性、耐久性に優れています
石、岩、コンクリート、鉄などと良く接着します



ソイルガード工法の施工対象範囲

石、岩、岩盤の安定化、岩盤法面の保護工法
岩、ダム、橋梁、ビルなどの補修、補強工法
アンカーの接着、コンクリート二次製品の接着
バラストの安定処理（鉄道、油タンク）
ウッドチップ、ゴムチップ、小石、碎石の舗装



ソイルガード工法の施工方法

（1）吹き付け工法(機械施工)

高粘土液用の散布機を用いて吹き付ける
小片の多い場所や、クラックが多い岩盤に適している
ネット、ラス金網との併用が効果的です



（2）注入工法（人力施工）

小さな隙間や、亀裂、アンカーボルトの穴に直接注入する
クラックの少ない岩盤や、小面積の施工に適しています。

（3）樹脂モルタル充填工法(人力施工)

珪砂、碎石を骨材にした樹脂モルタルを使用する
大きな隙間や亀裂に人力で充填する
大きな隙間の接着や、液状では施工困難な場所に適しています。
自然石やアンカー類の補強に適しています。

